

第6回 東京・南関東支部学術集会

会長挨拶

このたび、日本ペインクリニック学会第6回東京・南関東支部学術集会を2026年1月17日（土）に、御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターで開催することになりました。本会は、痛みの分野における各種研究や実臨床で遭遇する難治性疼痛症例の発表などを通して、最新の知見を共有するとともに、臨床における課題や対応について学びあう大変貴重な機会となっています。

本年度の学術集会のテーマは「痛みの治療におけるベストプラクティスを探求する」といたしました。多くの方を悩ませる痛みに対する評価や治療は、いまだ発展途上の分野であると考えられます。若手医師から経験豊富な医師、そして医師以外の医療従事者が一堂に会し、実践的な診断、薬物療法、非薬物療法など、多角的な視点から議論を深める本学術集会がベストプラクティスを探求できる場となることを願っております。本会のプログラムは、一般演題17題、共催セミナー2題、教育講演1題、そして医療機器・医薬品展示と多彩な内容を予定しております。また、後日、一般演題・教育講演のオンデマンド配信を行う予定です。

本学術集会へのご参加が、皆様の明日からの痛み診療の一助となれば幸いです。多くの皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げております。

2025年12月
日本ペインクリニック学会第6回東京・南関東支部学術集会
会長 松本 穎久
公益財団法人がん研究会 有明病院 緩和治療科